

り、所要量もその線にそって定められている。しかし先人の報告では、妊娠中の Ca 摂取量と胎児の骨の Ca 含有量との関係については決定的なものはない。ことに Ca を多量に摂取した場合、骨はどの程度太くなるかは明らかでない。妊婦が Ca を多量に摂取すると、胎児の骨の発育がよく、難産になるといわれている。このことが果してそうであるか否かは、妊婦や新生児について、統計的観察をしなければならぬのであるが、それには多くの時日を要するので、まず白鼠について実験を行い、大体的見当をつけようとするものである。

2. 発育途上の同腹の白鼠を用いて、幾番も雌雄を金網籠に同居させ、その半数を高 Ca 飼料 (Ca 含有量 0.8%) 他を低 Ca 飼料 (Ca 含有量 0.05%) にて長時間飼育し、その発育状態、分娩開始の時期、分娩回数および授乳の良否、また仔鼠についてはその数、体重、灰分量、Ca 含有量、X線写真などについて比較検討した。

3. 生下時の仔鼠について得た数値は、高 Ca 群は平均体重 4.42 g、灰分 0.0736 g、Ca 量 0.0119 g、低 Ca 群はそれぞれ 4.23 g、0.0670 g、0.0106 g であった。Sherman の正常仔鼠の Ca 量は 0.0108 g、Macomber の低 Ca 飼料での値は 0.0109 g であるとの報告からみても、飼料中の Ca の多寡は、仔鼠の骨の組成にそれほど大きな影響はないように思われる。

A-32 妊娠時の Ca 代謝に関する実験的研究 (その 1) 飼料中の Ca 含有量の多寡の 仔鼠におよぼす影響

東京都立立川短大 大山サカエ

1. 妊婦は胎児の新組織形成のために、特に栄養に注意しなければならないが、中でも Ca の補給が必要であ